

---

# 僕の日

羅針

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

僕の日

### 【コード】

N7285Z

### 【作者名】

羅針

### 【あらすじ】

平凡な少年とその取り巻き（親友）が少年を蚊帳の外に放り出すお話です

## エピソード

「おい さっさとしろお」

「うん！」

今日はクラスの仲間でちよつとご遊戯に来ている。

僕はあんまり性格も控えめで人見知り、人と話すのが小学生までは億劫だった。

でも中学校に入って、ある2人に会ってからドンドン変わっていったのだ。

今日は3人で遊びに来ている。

右にいるのが、島木涼<sup>シマキ リョウ</sup>。3人のうちの1人の女の子。

強気でなんでも、ズバズバ言いたいことはなんでも言うから最初はとても怖かった。

今も少し怖いかも……

髪は茶色？金髪？でロングヘア。眼は赤。運動が好きな中学2年生。左にるのが、甘地信条<sup>アマチシんじょう</sup>。僕も合わせて2人の男。

この人も強気で涼さんとよくケンカしている。

しかもケンカの原因は9割信条君のせいだったりする。

髪は黒の短髪。髪が上にツンツンはねてる。確か、髪がはねていることでケンカしていた時期も

あったっけ……

「なんでそんなに髪ツンツンなの？」

「生まれつきだよ」

「毎日セットしてるんじゃないの？」

「するわけねえじゃん。涼じゃあるまいし」

「私がいつセットしてきた!？」

「毎日。城址<sup>じょうぢ</sup>と遊ぶ<sup>あそぶ</sup>からって毎日セットしてるじゃん」

「してない〜（／＼／＼）」

「顔真つ赤ww」

「うるっさい!」

「あははは」

「こんなのが毎日だ。」

ちなみに城址とは僕の名前だ。白井<sup>しろい</sup> 城址。

髪は白。短髪。眼は緑。「目が綺麗」とよく言われる。

「今日はどこ行くの?」

僕は話題提供。  
はなしをもちかけた

「ん〜今日はハーポッターの第8弾の上映日だから、チケッ  
トもらってきたんだ」

「さすが!」

それからまた僕は蚊帳の外でガンガン話を進めていく

「……」

「ほら! あそこにアイスクリーム売ってるよ!買おう!」

「お前買ってこいよ〜俺バナラで」

「なんで!?!」

「それじゃ僕ストロベリーで。」

「なんで城址も!?!」

「それじゃ決まり。ほら、金」

「ありがとう」

そう言っ僕もお金を渡した

210円渡すと涙目で買いに行った。

週末はいつもこんな感じだ。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7285z/>

---

僕の日

2011年12月24日04時46分発行